

13

8080

人事秘録

三軍副報號第二三五號

特別報告

昭和十七年九月二十四日

第十軍司令部官 澤田

陸軍大臣 東條英機 殿

左記ノ者ニ對スル首題ノ件別紙ノ通報告ス

左記

獨立混成第十七旅團獨立歩兵第八十七大隊第一中隊

陸軍一等兵

支那派経 昭和拾七年拾月六日
總司令部 總司令部第二一〇號

陸軍省 17.10.20 受計 原

陸軍省 17.10.13 防衛課

陸軍省 17.10.14 謝恩

陸軍省 17.10.12 受計 彌

陸軍省 17.10.11

(日本標準規格B-6)

重大ナル軍紀違反事項

一 發生年月日

昭和十七年八月三十日

一 違反事項ノ概観

東京市赤坂區新町四丁目四番地

獨立歩兵第八十七大隊第一中隊

昭和十五年徵集 現役 陸軍一等兵

大正 [redacted] 生

右者現役前願兵トシテ昭和十六年三月二十三日頭書ノ部隊ニ入隊
 自動車手トシテ勤務中ノ處「せ」號作戰開始ト共ニ獨立混成第十
 七旅團工兵隊ニ自動車手トシテ配屬同部隊ニ於テ作戰ニ從事八月
 四日現駐地（湖南省臨湘縣長安駝）ニ到着同地ノ警備勤務ニ服務
 中ノ處八月三十日二〇三〇頃他班ニ於テ飲酒酩酊ノ上一名ニテ兵
 舍附近慰安所ニ登樓スヘク其ノ近傍ニ悉リタル際同隊古參兵陸軍
 上等兵高崎秀雄ニ發見セラレ再三呼止メ制止セラレタルヲ以テ兵
 舍ニ引返サントセルモ途中尙登樓ヲ斷念セザルノミナラス同上等
 兵ニ對シ「俺ノ氣ノ荒イノヲ知ツテ居ルカ」ト暴言ヲ吐キタルヲ
 以テ同上等兵ニ毆打セラル此ノ騒音ヲ聞キ付ケ來合セタル古參兵
 陸軍上等兵桑原春雄ト共ニ更ニ協力自動車班ニ歸營ヲ促シタルモ
 闖入レス再ヒ慰安所附近ニ引返シ附近ノ器物ヲ投ケ付ケセントス
 ル等ノ粗暴ニ出テタルヲ以テ再ヒ兩名ニテ本人ヲ毆打取押ヘタル
 ニ漸ク登樓ヲ斷念セルヲ以テ兩名ニテ自動車班ニ連レ歸ル途中桑
 原上等兵ハ自動車班ニ立寄ラス附近下士官室ニ立去リタルヲ以テ
 高崎上等兵一名ニテ本人ヲ同班入口附近ニ連行セル處本人ハ登
 樓ヲ制止シ毆打セラレタル復讐トシテ突庭ニ其場ニ在リタル三十
 年式銃劍ヲ拔キ向ヒ來リシヲ以テ高崎上等兵ハ突差ニ身ヲ交シ逃
 ケ出シタルニ本人ハ飽ク迄モ復讐スヘク該銃劍ヲ持チ裸足ニテ兩
 名ヲ追跡シ二一、三〇頃桑原上等兵ノ所屬班ニ飛奔込ミ横臥シ居
 リタル陸軍上等兵高橋菊二ニ突然「桑原ハ居ラヌカ」ト大聲ニテ

(結谷典・東京)

聞ヒシモ發見ヲス依テ本人ハ其ノ附近ニ厩舎セタル初年兵ニ
對シ矢麩ニ銃劍ヲ以テ左ノ如ク傷害ヲ與ヘタルモノナリ
1 獨混一七旅工隊軍一等兵山岸西雄ヲ銃劍ノ峯ニテ前額部ヲ強打

2 同 同 佐藤三郎ヲ銃劍ニテ頭部切傷長サ五サ

3 同 同 河野幸作ヲ銃劍ニテ左大腿部刺創(輕傷)

原因

顯安所ニ登樓セントセシヲ引止メラレ且毆打サレタルニ依ル

動機

酒氣ヲ帶ビアリタル所ヲ毆打セラレシニ依ル逆上セルモノナリ

處置

傷害暴行罪トシテ第十一軍々法會議長官ニ捜査報告セリ

責任者ノ處分

ナシ

其他必要ナル事項

1 本年四月二十九日許可外出中飲酒酌町ノ上戰友ト口論ノ上拳銃
ヲ暴發シ不慮ノ事態ニ驚キ離隊シ所属中隊長ヨリ重懲倉二十日
開大隊長ヨリ加罰同十日ニ處セラル

2 本人ハ表面從順ヲ裝ヒ居ルモ勤務ニ表裏アリ又昭和十二年四月
頃郁文館商業學校第三學年在學中誤テ鐵棒ヨリ落下シ頭部ヲ打
チ腦膜炎ニ罹患シ中途退學ス

3 家庭ノ狀況

父母及一弟二妹健在ニシテ父ハ洋紙問屋及貸家業ヲ營ミ本人ハ
前腦膜炎治療後父家業ヲ手傳ヒ入營ニ至ル